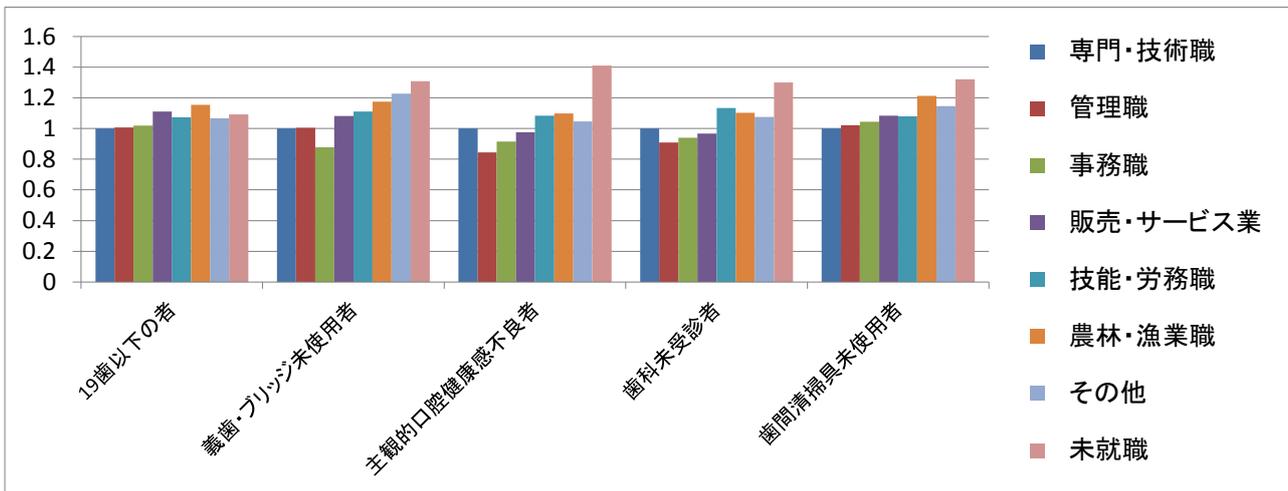
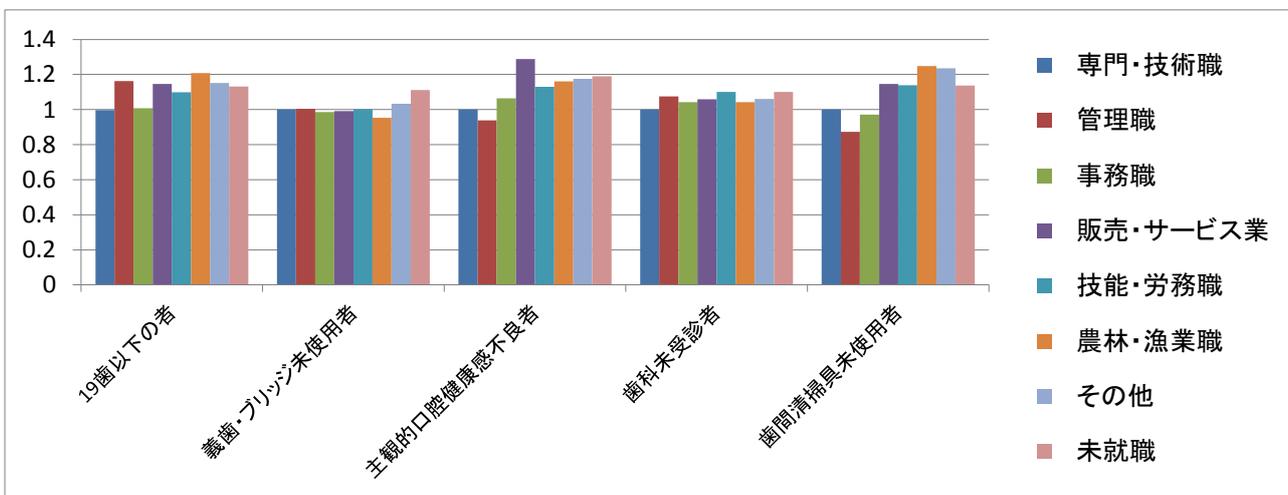


## 販売・サービス，技能・労務，農林漁業職だった高齢者では 口腔の健康状態と歯科保健行動が不良な人が最大 1.3 倍多い

最も長く従事した職業によって 65 歳以上の高齢者の口腔の健康状態や歯科保健行動が異なることが、23,191 名を対象とした調査で判明しました。郵送調査によって最長職と口腔の健康状態や歯科保健行動の関連を検討しました。その結果、年齢、教育歴、所得、対象者が居住する自治体の人口当たり歯科医師数などに関わらず、**男性では歯数、義歯またはブリッジ使用、主観的な口腔の健康状態、歯科受診および歯間部清掃器具使用において、女性では歯数、主観的口腔健康状態および歯間部清掃器具の使用において、最長職との間に有意な関係がみられました。すなわち、販売・サービス業、技能・労務職、農林・漁業職、その他、未就職の人は、専門・技術職の人に比較して有意に口腔の健康状態と歯科保健行動が不良でした。特に販売・サービス業だった女性は専門・技術職の人に比較して 1.3 倍、口腔の不健康を訴える人が多くみられました。**このような人が多く居住する地域に対して重点的に歯科保健対策を行うことで、効率的・効果的な介護予防政策が進められる可能性が示唆されました。



【図 1】最長職と口腔の健康状態および歯科保健行動との関係（男性）。縦軸は専門・技術職を基準 (1) とした場合のそれぞれの口腔の不健康や歯科保健行動不良者の割合が増加する危険度



【図 2】最長職と口腔の健康状態および歯科保健行動との関係（女性）。縦軸は図 1 と同様

### <背景>

農漁村の住民は口腔の健康状態がよくないとか、歯科保健行動が好ましくないという保健師の観察に基づく意見があります。これがデータで示されれば地域における歯科保健を通じた介護予防推進に寄与できると考えました。そこで本研究では高齢者における最長職と口腔の健康状態および歯科保健行動との関連を検討しました。

なお過去の研究結果から、口腔の健康状態や歯科保健行動は、教育歴、現在の経済状態、歯科医療機関へのアクセスのしやすさが影響することが予想されるため、これらの影響を統計学的に排除して分析を行いました。

### <方法>

2010~2012年実施のJAGES（日本老年学的評価研究）プロジェクトで分析対象項目を含む調査票に回答した30自治体在住の65歳以上で要介護認定を受けていない23,191名を対象としました。男女別に、最長職（専門・技術職、管理職、事務職、販売・サービス職、技能・労務職、その他、職に就いたことがない）を尋ね、それによって口腔の健康状態（歯数、19歯以下の人における義歯・ブリッジの使用、主観的な口腔の健康状態）および歯科保健行動（治療を目的とした歯科への受診、10歯以上の人におけるフロスや歯間ブラシなどの歯間部清掃器具の使用）が異なるのかを、個人の年齢、教育歴、所得および市町村ごとの人口当たりの歯科医師数および人口密度を統計学的手法で調整したマルチレベルポアソン回帰分析を行いました。

### <結果>

年齢、教育歴、所得、人口当たり歯科医師数および人口密度を調整しても、男性では歯数、義歯・ブリッジ使用、主観的な口腔健康状態、歯科受診および歯間部清掃器具使用において、女性では歯数、主観的な口腔健康状態および歯間部清掃器具使用において、最長職との間に有意な関係がみられました。すなわち、販売・サービス業、技能・労務職、農林・漁業職、その他および未就職の人は、専門・技術職の者に比較して有意に口腔の健康状態と歯科保健行動が不良でした。特に販売・サービス業だった女性は専門・技術職の人に比較して1.3倍、口腔の不健康を訴える人が多くみられました。

### <研究の意義>

これらの結果から、販売・サービス業、技能・労務職、農林・漁業職および職に就いたことのない人等が多く居住する地域に対して重点的に歯科保健対策を行うことで、効率的・効果的な介護予防政策が進められる可能性が示唆されました。

### 論文発表

Yamamoto T, Kondo K, Aida J, Fuchida S, Hirata Y, for the JAGES group: **Association between the longest job and oral health: Japan Gerontological Evaluation Study project cross-sectional study.** BMC Oral Health 2014, 14:130.

(お問い合わせ先)

神奈川歯科大学大学院歯学研究科 社会歯科学講座  
准教授 山本龍生

電話：046-822-8838

Eメール：yamamoto.tatsuo@kdu.ac.jp